

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サンクレイドル鶴見緑地公園	階数	地上9F
建設地	大阪府守口市南寺方南通	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住宅専用地域、準防火	平均居住人員	384 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年3月29日
敷地面積	3,325 m ²	作成者	株式会社日企設計
建築面積	1,407 m ²	確認日	2024年4月15日
延床面積	7,594 m ²	確認者	林友紀



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 93%

③上記+②以外の: 93%

④上記+: 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
音環境: 3.2	機能性: 3.6	生物環境: 2.0
温熱環境: 3.7	耐用性: 3.1	まちなみ: 3.0
光・視環境: 3.4	対応性: 2.8	地域性・地域環境: 3.0
空気質環境: 3.4		

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮: 3.0	水資源: 3.0	地球温暖化: 3.2
自然エネ: 3.0	非再生材料の: 2.8	地域環境: 3.0
設備システ: 4.4	汚染物質: 2.6	周辺環境: 3.0
効率的: 3.0		

3 設計上の配慮事項

総合	その他
室内環境とサービス性能に配慮	特になし
Q1 室内環境 遮音性能の高いサッシを採用	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材を採用
Q3 室外環境 (敷地内) 敷地の広い範囲で植栽を設けている	
LR1 エネルギー 住棟でのBEI0.88を達成	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物以下

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		サンクレイドル鶴見緑地公園					
建設地		大阪府守口市南寺方南通					
用途/区分		集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+	
①	CO2削減	★★★★☆				3	
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3	
③	断熱性能	★★★★☆				3	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	1 2 3 4 5 6 7		4	
④	エネルギー消費性能	★★★★☆				4	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	★★★☆☆		2	
		評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					3.0	3
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					4.4	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							